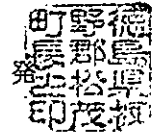


松建第1104号
平成20年 10月 7日

国土交通省道路局長 殿

松茂町長 広瀬 憲



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことにつきまして、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

徳島県 松茂町

地方における、道路整備は、都市部に比して著しく遅れており、都市部との地域間格差が縮まっていない状況にある。

地方にとって真に必要な道路整備が着実に進められるよう、地方の道路整備財源を安定的かつ十分に確保する仕組みを構築するとともに、道路整備が遅れている地方への重点配分を図ること。

特に、地域の道路整備を支えている「地方道路整備臨時交付金制度」を存続・拡充し、これまで以上に地方の道路整備財源の優先確保を要望する。

○現状

松茂町では、町内に鉄道はなく、日常生活や社会経済活動の大部分は、道路に依存している。

町内の道路は、徳島市を起点とし、松山市に至る四国でも重要な路線である国道11号線が中央を縦断しており、国道2路線、県道6路線、生活道路として1級、2級その他の町道により構成されている。

現在、町域西端部を貫通する四国横断自動車道の建設が進められている。また、町域東端部の海面埋め立て地への空港ターミナルビル移転に伴う、県道の延伸が進められている。

幹線道路については、県都である徳島市の北部に接していることから、中心市街地への広域幹線網の一部を担っている地域であるため、通過交通による交通渋滞の慢性化がある。

また、町道については、狹隘道路の拡幅、歩道の確保等、道路改良が望まれる箇所が未整備の現状である。

○課題

幹線道路においては、交通の処理だけではなく沿道の土地利用、地域の景観に大きな役割を持っている。

道路の拡幅、交差点改良、歩道の設置等、未整備箇所の整備はもとより、植栽・植樹等を促進するなど、人と車が共存し快適に利用できる道路整備が必要である。

また、徳島県東部地域の総合的交通体系の整備を図るため、県都を含む周辺地域と本町にある空港周辺を結ぶ南北道路、空港線の西への延伸等、地域における経済活動・住民の生活の発展に不可欠な道路として、早期に計画・整備されることが望まれる。更に、現在建設中の四国横断自動車道の町内インターチェンジ等の設置と連結する道路の整備が課題となっている。

生活道路としての町道の整備においては、今後発生が予想される東南海・南海地震等災害発生時における避難路、輸送路の確保が必要であり、狹隘道路の拡幅、既存橋梁の適切な維持管理が急務の課題となっている。

自然環境と農業環境、市街地の形成の育成を基本とし、町のゾーン別土地利用計画方針に基づいた、商業・住宅ゾーン、工業流通ゾーン、農業ゾーン・空港ゾーン、自然・レクリエーションゾーンの各区域ごと調和のとれた土地利用の中で、幹線道路の整備にあわせ、各ゾーンにアクセスできる道路ネットワークを形成する、安全で安心な道路整備。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表例、期待する効果や評価等）

様式④

徳島県 松茂町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
陸・海・空の広域ネットワークの形成	・徳島空港と四国横断自動車道との直結 四国横断自動車道の町内 PA 及びスマートインターチェンジの設置と主要地方道徳島空港線西口交差点からスマートインターチェンジまでの幹線道路の整備	徳島空港においては、現在、滑走路 2,500m 化事業が平成 22 年度供用に進められている。また、この事業と併せて空港を核とする広域交流拠点として流通施設用地や海浜公園などの周辺整備が進められており、これらの整備効果を一層高めるためには、整備中の四国横断自動車道と空港を直結するアクセス道路の整備が不可欠となっている。 具体的な効果 ・空港と高規格道路が直結され、アクセス時間が大幅に短縮（10 ～ 15 分） ・今後分譲が予定されている流通施設用地への企業進出の促進と雇用の拡大 ・松茂町が管理運営する海浜公園や月見ヶ丘海水浴場等利用者増加等交流人口の拡大	